

番組活用案

ふじ わらの みち なが

藤原道長 ~貴族の政治とくらし~



1 ねらい

京都に都がおかれたころの貴族の政治やくらしについて調べ、藤原氏などの貴族が政治を動かしていたことや貴族の華やかなくらしの様子が分かるようにする。

2 授業の流れ

※番組を録画、またはHPの動画を使って活用する展開になっています。

1 導入・番組視聴1 (前半) (7分)

- ・藤原道長の肖像画と「もち月の歌」を黒板に掲示し、歌の意味について話し合う。
 - ・番組の前半 (藤原道長の歌と踊りまでの5分) を視聴する。
- ★平安時代は天皇中心にしながらも有力な貴族が政治を行っていたことや藤原道長をはじめとする藤原氏が大きな権力を握っていたことを理解させる。

2 番組視聴のまとめ ワークシート1 (8分)

藤原道長が権力を手に入れた背景についてワークシートに整理し、道長がよんだ歌の意味を確かめる。

3 学習問題の提示

寝殿造の絵を掲示するなどして学習問題を提示する。

大きな権力を手にした貴族は、どのようなくらしをしていたのでしょうか？

4 学習問題について調べる ワークシート2 (15分)

- ・寝殿造のやしきの中でのくらしや貴族の仕事などについて教科書や資料集などを使って調べさせ、ワークシートに整理させる。
- ・調べて分かったことを発表させ話し合う。

5 番組視聴2 (後半) ワークシート2 (10分)

- 番組の後半を視聴して調べたことを確かめ、新たに分かったことをワークシートに追記させる。
- ★寝殿造のやしきの中での貴族のくらしの様子、儀式や行事などとり行う貴族の仕事などについて理解させる。

⑥ まとめ ワークシート3 (5分)

「ドキリ・ポイント」を手がかりにして、今日の学習のポイントをまとめさせる。

- ★天皇を中心におき、実際には貴族を中心に政治が行われていた。
- ★道長は天皇との関係を深め藤原氏が強い権力をもつようになった。
- ★貴族は儀式や行事を行うことが仕事だった。

ワークシート例



ワークシート

ふじ わらの みち なが

藤原道長 ~貴族の政治とくらし~

くみ

なまえ

学習課題

大きな権力を手にした貴族は、どのようなくらしをしていたのでしょうか？

1 藤原道長はどのようにして権力を強めたのだろうか。

(このころの政治のしくみ)

- ・奈良時代に引き続き天皇中心の政治が行われていた。
- ・実際の政治は天皇ではなく貴族が政治を行っていた。
- ・貴族は朝廷で高い位についた氏族で互いに権力争いをしていた。

(藤原道長が権力を強めた理由)

- ・天皇との関係を強くすることで道長は権力を強めていった。
- ・娘を天皇と結婚させて、自分が天皇の政治を助ける摂政や関白になった。
- ・貴族の中でも藤原氏は特別に大きな力をもつようになった。

2 貴族はどのようなくらしをしていたのか調べよう。

- ・寝殿造という大きなやしきにくらしていた。
- ・和歌をよんだり、囲碁やけまりなどの遊びをしたりして楽しんでいた。
- ・季節ごとに儀式や行事などの宮廷の仕事をしていた。
- ・七夕やひな祭りなどの行事もこのころからはじまった。
- ・貴族が儀式や政治を行うことで、この時代の文化をつくっていった。

3 学習のまとめをしよう。

- 天皇の中心の政治が行われていたが、実際の政治を進めていたのは貴族であった。
貴族は当時の身分の高い役人だった。今と違うのは代々その仕事を受け継いでいたことだと思う。
- 藤原道長は娘を天皇と結婚させて天皇との関係を深めたので、藤原氏が強い権力をもつようになったから、よく考えたと思った。
藤原氏は、何でも自分の思い通りになると思うほどの権力を手にした。
- 貴族は寝殿造で生活しているいろいろな遊びをしていた。儀式や行事を行うことが仕事だった。
貴族はすいぶんぜいたくなくらしをしていたと思う。

